



日ロ交流協会創立60周年記念パーティー開催

服部 文男

日ロ交流協会は、1965年2月に創立され今年で6周年を迎えることができました。

2025年2月28日、当協会創立60周年記念パーティーを在日ロシア連邦大使館で開催しました。開催にあたり日本とロシア関係が難しい状況にある中、当協会は政治や外交に関わりなく、両国民の草の根的な市民との文化交流がこのような状況にある時ほど必要であり、60年間築いてきた交流の絆を絶やすべきではないとの考えから開催することとしました。

創立60周年記念パーティーの参加者は予想を大きく上回る約200名となりました。受付では出席された方々に、プログラムとともに記念紙として「日ロ交流協会60年の歩み」やマトリョーシカのキーホルダーが配られました。また、その傍にあった大きなチェブラーシカは人気で、早速写真を撮る人が目立ちました。会場はシャンデリアの輝く大広間、手前にある中広間には日ごろの成果として、ロシア大使館や通商代表部の皆様が活けたいけばなや友禅染の作品が展示されました。

パーティーの司会は当協会の小嶋・岩本常任理事で進められ、最初に主催者挨拶を服部会長、祝辞のご挨拶を在日ロシア連邦大使館・ニコライ・ノズドリェフ特命全権大使、鳩山



会長挨拶

由紀夫元内閣総理大臣からいただきました。続いて、大使館付属学校合唱団『ロシアンカ』の民族衣装に着飾った35名の生徒達の美しい歌声と踊りで、来場の皆さんはとても感激していました。

乾杯の音頭は、在日ロシア連邦大使館クジネツォフ次席公使によりご挨拶と乾杯のご発声をいただいた後、宴会に移りロシア大使館専属シェフによる多くのメニューのロシア料理が用意され、皆さんは舌鼓を打ちながらワインやウォッカも味わっていました。

続いて、コンサートが始まり、坂田誠山氏指揮による「ドルチェ邦楽合奏団」の演奏があり、尺八、琴での「昭和歌謡メドレー」と邦楽での演奏には珍しく懐かしいものでした。次は、当協会でもロシア語講座を受けている方やロシア民謡の会「マトリョーナ」でカチューシャなどを熱唱しました。

懇談中ではありましたが、日ロ交流にご尽力され、当協会の会員でもある元防衛庁長官齊藤斗志二氏のご挨拶もいただきました。約2時間の記念パーティーは盛大におわり、閉会の挨拶には当協会の朝妻顧問から参加へのお礼等を申し上げお開きとなりました。

創立60周年記念パーティー開催にあたり多大なご協力をいただきました、大使をはじめ在日ロシア連邦大使館の多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

日ロ交流協会は未来を見つめ、今後とも日ロの市民間での文化交流の絆を大切に進めて参りたいと思います。皆様の引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。（会長）

